

NCNP ブレインバンクに寄託された方のご遺族へ

この度、NCNP ブレインバンクに寄託された剖検組織の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し試料やそれに付随する診療情報等を利用することにより、ご遺族の方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2009年4月より2024年12月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方のうち、病理学的解析によりアルツハイマー病（AD）あるいは顕著な精神・神経疾患なしと診断された方。

2. 試料情報の提供を行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属・氏名：病院臨床検査部・高尾昌樹

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：『新規アルツハイマー病創薬標的候補因子の病理学的解析研究』

研究期間：研究開始日～2027年3月31日まで

研究代表者(研究責任者)：滋賀医科大学 橋本翔子

(共同研究機関)

国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 研究責任者 高尾昌樹

愛知医科大学 研究責任者 吉田真理

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料：剖検脳組織

(取得方法)剖検時にご遺族の同意のもとに取得

情報：付随する情報（年齢、性別、死後時間、診断名、病理解析結果など）

(取得方法) 診療録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究では、橋本らがアルツハイマー病 (AD) モデルマウスを解析して同定した、創薬の標的となりうる 3 つの因子について、ヒト AD における病態形成への関与を検証します。AD 脳および非アルツハイマー病対照脳のパラフィン包埋切片を用い、免疫組織化学的手法により、各因子の発現量および局在パターンを評価します。また、タウ病理およびアミロイド病理との共局在を解析し、AD 群と対照群の間で比較検討を行うことで、これらの因子が AD 病態に関与する可能性を明らかにいたします。国立精神・神経医療研究センター (NCNP)、愛知医科大学から滋賀医科大学に脳が提供され、滋賀医科大学でこれらの解析が行われます。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター NCNP ブレインバンク

氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711 (代表)